

令和2年度 特色ある道徳教育推進校（心の教育推進キャンペーン実施校）
勝浦市立勝浦小学校

研究主題

自他を大切にして、よりよい生き方を主体的に考える児童の育成
ー児童と教師で共につくる道徳科の授業を通してー

取組1 児童と教師で共につくる道徳科の授業

本研究で考える「主体的に考える児童」の姿

道徳的価値について、自分自身の問題として捉え、学習に取り組んでいる

- ・自分事として考える
- ・様々な側面や視点、立場から考える

そのために

【STEP 1】 実態把握

教師の明確な指導観

日常の児童の行動や考え方と内容項目とのずれ等から、その内容項目について教師が大切にしたい（児童に考えさせたい）と思うことを明確にしておく。

教材について、児童に考えさせたい道徳的価値に関わる事項がどのようにふくまれているかを検討する。

児童が教材のどの部分に興味をもっているのか、どんな問題意識をもっているのか等を把握し、授業を構想する。

- ・事前に教材を読ませ、感想や疑問点、高学年なら「この教材を通して、みんなで考えたいこと」などを書かせる。

【STEP 2】 授業づくり

①事前の児童の感想から授業の構想を練る

- ・教師の考えさせたいことと児童の興味、問題意識が一致していることを確認する。
- ・児童に考えさせるための発問構成を考える。
(中心的な発問をどうするのか、それを生かすための発問構成はどうするのか)
- ・導入を考える。
- ・書かせる場面をどこにするのかを考える。

②多様な学習過程

- ・登場人物への自我関与が中心の学習
- ・問題解決的な学習
- ・道徳的行動に関する体験的な学習

③具体的な手立て

- ・多様な教材と効果的な活用（地域教材、映像教材、ゲストティーチャーなど）
- ・本時のテーマの提示方法の工夫
- ・話し合い活動の工夫（ペア、小グループ、プレゼン、討論的等）
- ・表現方法の工夫（ネームカード、ワークシート、動作化、役割演技等）

これらを通して

一人一人がよりよい生き方について考え、「納得解」を得る

【STEP 1】実態把握

児童の問題意識や実態を把握するため、授業前に教材を読んだ感想等、思ったことをワークシートに書かせた。

【活用したワークシート】

【STEP 2】授業づくり

STEP 1 の児童の実態を基に、授業の構想を練り、発問や具体的な手立てを検討し、授業づくりをした。



指導方法の工夫

ア……役割演技を取り入れた授業
 イウ…個々の児童の考えを表出するために、色分けした意志表示カードやスケールを活用した授業
 エ……視覚的に捉えるための構造的な板書

取組 2 学校教育全体を通じた道徳教育の充実

ぽかぽかの木



【教室の掲示物】



【児童の書いたカード】

毎月実施する「生活調査アンケート」の時に、生活を振り返り、友達からしてもらったことや言ってもらったことで、心がぽかぽかした言葉をカードに書いて掲示した。

命を大切に作るキャンペーン集会

「命を大切に作る」をテーマにした全校集会を開き、各学級で作成した標語を発表した。



【各学級の標語（昇降口前に掲示）】

異学年交流

縦割り班や、こども園の年長児との交流活動を計画的に実施した。



【異学年で外遊び（左） 幼小連携交流会（右）】

主な成果と課題

- 事前に教材文を読ませ、感想を集めたことで、児童の教材の内容に対する関心や問題意識を把握することができた。また、発問内容を考えることにつなげることができた。
- 事前の児童の感想を生かして授業づくりをしてきたことで、問題意識をもって授業に取り組むことができる児童が増えてきた。
- 指導方法の工夫により、児童一人一人が自分自身の問題として捉え、考えをもてるようになった。
- 児童が多様な感じ方や考え方に接する中で考えを深めていけるよう、発問を工夫していく必要がある。

- 1 主題名 正直に生きる A(2) 正直、誠実 (県の視点「かけがえのない自分」)
「ぼくはMVP」(出典「小学道徳 ゆたかな心」光文書院)

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

本主題は、中学年における内容項目A〔正直、誠実〕「過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること」を受けて設定したものである。

児童が、健康的で積極的に自分らしさを発揮できるようにするためには、自分の気持ちを偽ることなく、何事に対しても心を込めて、明るく楽しい生活を心がけることが大切である。しかし、ときに私たちは、都合の悪いことが生じるとうそをついたりごまかしたりして、その場をやり過ごそうとする。正直であるべきとわかっていても、状況によってそれは難しい。だからこそ「正直」にどう向き合っていくか考えさせることが大切である。正直に行動できたときのすがすがしさにも触れながら、児童に「正直」「誠実」について自分なりの考えをもたせたい。

なお、本主題は第5学年及び第6学年の「誠実に明るい心で生活すること」へとつながる。

(2) 児童の実態について

事前アンケートでは、正直について、15名の児童が「うそをつかない」「本当のことを言う」と回答した一方で、「わからない」という児童も見られた。また、本教材で問題が発生するドッジボールについて、7名の児童が「ボールが当たってもコートから出なかったことがある」と回答した。事前に教材を読んだ感想では、「もうちょっと勇気があったら外野に出られたのではないか」「自分の心と友達の心がちがうから、もし自分だったら迷ったと思う。みんなだったらどうするのか」など主人公の心の葛藤に目を向け、クラスみんなで主人公の行動について考えたいという感想をもった児童が多く見られた。正直であるべきとわかっていても、それを実践できないときがあることを踏まえ、主人公への共感を促しながら自分の気持ちに目を向けさせていきたい。

(3) 教材について

本教材は、ドッジボールでボールが当たっても周りの声におされて最後までコートに残ってしまった主人公の心の葛藤が描かれたものである。ボールが当たったことを言わなければならないながらもゲームに夢中になり活躍する展開は、誰しも身に覚えがあるであろう。最後にMVPと称賛されながらも、うかない顔をして「でも……。」と呟く終末からは、正直に行動するのは決して簡単ではないことが読みとれ、自分と重ね合わせて考えるのに適した教材である。

3 本時の授業づくり

本時では、主人公の心情に自我関与させ、この後どのような行動をとるべきか、それはなぜかを述べ合いながら本時のねらいに迫っていく。具体的には、以下の手立てを講じる。

○導入と展開時の最後に同じ問いを投げかける。

「正直とはどんなことでしょうか。」という同じ問いを投げかける。主人公の心情に自我関与したり友達の考えに触れたりすることで、広がったり深まったりした自分の考えを見つめることになるだろう。

○児童の考えを可視化する。

ウェビングを用いて、行動に伴う影響等を整理したり関連付けたり、スケール表上にネームプレートを貼らせることで友達関係や良心、恥ずかしさ等の勘案を児童に促したりする。多様な考えにふれることで、「正直」について自分の考えをもったり、正直であることの難しさを実感したりするであろう。

4 本時の指導

(1) ねらい

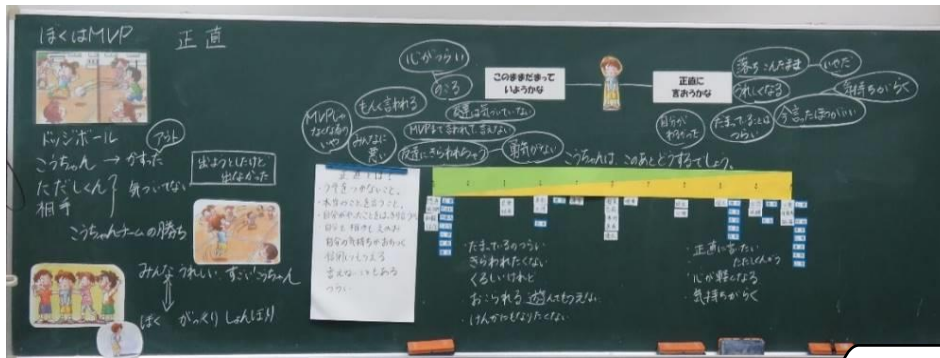
MVPと言われ気が重かった主人公が、その後どのような行動をとるべきか考えることを通して、正直であることのよさに気づき、正直に明るい心で生活しようとする実践意欲と態度を育てる。

(2) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点・評価(*)
導入 5分 一斉	1 「正直」とはどのようなことか考える。 ○「正直」とは、どんなことでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・うそをつかないこと。 ・自分がやったことをはっきりと言うこと。 	○事前にとったアンケート結果の提示や日常の生活の振り返りから、正直でいることが難しいことを共有し、本時のテーマをつかませる。
展開 20分 一斉 ↓ 個別 15分 個別 ↓ 一斉	2 気が重くなっていく主人公の様子を踏まえ、終末場面における言動について考える。 ○MVPと言われ気が重くなったのはなぜでしょう。 ◎この後、主人公はどうすべきでしょう。理由も考えましょう。 ○正直とは、どんなことでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・うれしくない。 ・どうしたらいいんだろう。 <p><黙っている></p> <ul style="list-style-type: none"> ・恥ずかしいし MVP でなくなってしまう。 ・友達ががっかりして責められるかもしれない。 <p><本当のことを言う></p> <ul style="list-style-type: none"> ・うそはよくないし友達に悪い。 ・言えば気持ちが晴れる。 ・これで MVP になってもうれしくない。 <p><黙っている></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今さら言ってもかえって迷惑をかける。 ・言うタイミングや勇気がなくて言えない。 <p><本当のことを言う></p> <ul style="list-style-type: none"> ・もやもやしたままでいたくない。 ・楽しくドッジボールができなくなる。 <p><先生や友達に相談する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・言いたいけど言えないから誰かに助けて欲しい。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の心にうそをつかないこと。 ・正直でありたいと悩むことも正直につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スケール表上にネームプレートを貼らせ、その位置にした理由を挙げさせながらウェビングの手法で整理していく。 ○多様な考えに触れた児童に、再度ネームプレートを貼らせ理由を軸に話し合わせる中で、どの行動にしても正直でありたいという点は共通していることを確認する。 ○もう一度同じ発問をし、正直について、自分なりに考えたことをワークシートに記述させる。 *正直に言うことの気持ちやよさについて考えているか。(発言、ワークシート等)
終末 5分	3 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に正直に生活していきたい。 ・正直に生活することは大切なことだな。 	○テーマについて自分と重ね合わせ、これからの思いや課題について考え記述させる。

5 授業の様子

(1) 板書



正直にすることは、自分の心も相手の心も笑顔にすることだと思った。これからも正直に生活していきたいなあ。

正直に言えないこともある。でもそれは辛いことだから乗り越えていきたいなあ。

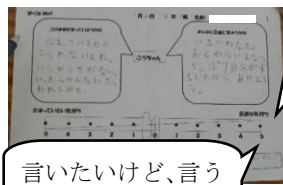
(2) 児童の様子



みんなのがっかりする様子を想像すると言えないよ。

スケール表上にネームプレートを貼る児童

言いたいんだけど不安もあるから、このあたりだな。



言いたいけど、言う勇気がでるかな。

ワークシート

だまっていると苦しくなる。正直に言った方が気持ちいいかな。



振り返りの発表